

開講日	2011年春季 火曜日 18:30-20:00	講義場所	研究棟11階講義室B
コーディネーター	名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床薬理学分野教授 木村和哲		

科目概要 および 期待される 成果	【概要】医薬品の開発は目覚ましいものがある。近年、疾病の原因や薬物の作用メカニズムを薬物受容体の観点からとらえ、より選択的な薬が開発されている。さらに、遺伝子工学的手法で個々の患者を対象としたオーダーメイド医薬品も期待されている。薬の剤形も様々な工夫がなされ、その使用に際して一定の知識が不可欠である。この講座では、新しい医薬品情報を提供し、正しい薬の使い方を概説したい。 【期待される成果】臨床現場から離れた看護師、医師、薬剤師に、最新の薬物治療を理解して頂くことで、医薬品の適正使用、副作用の早期発見に貢献できると思われる。
目標とする 資格	

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
	1	くすりの正しい飲み方	内服薬が食前、食後、食間と服用時点が指示されているのは何故でしょう、必ず守らなければならないのでしょうか、くすりを飲み忘れた時にはどうしたらいいのでしょうか、日頃疑問に思われていることにスポットをあて、お話ししたいと思います。	5月31日	教授 木村和哲 名古屋市立大学医学研究科 臨床薬理学
	2	降圧薬: 最近の薬に強くなろう	高血圧患者は日本に約4,000万人います。最近の新しい降圧薬を作用機構別に紹介し、その実際の使いかた、効果、副作用、禁忌などを学びます。また、現在開発中のこれから期待される新薬についてもご紹介いたします。	6月7日	教授 藤井 聡 名古屋市立大学薬学部 病態解析学
	3	知っておきたい腎臓と薬の関係	薬物治療と腎臓は重要な関係にあります。腎臓は薬剤の排泄器官であるため、腎臓が悪くなると蓄積が生じます。また、薬剤による障害のターゲットともなります。今回は、腎機能評価と薬剤性腎障害について説明します。	6月14日	病院教授 吉田篤博 名古屋市立大学病院 人工透析部
	4	オーダーメイド医療について	薬物の効果や副作用の発現には個人の遺伝子の相違が大きな影響を及ぼしています。遺伝子の差異に応じた、医薬品の適正な選択や投与量の調節、また、副作用発現の予測・防止など今後の個別化医療のあり方について概説します。	6月21日	講師 前田 徹 名古屋市立大学薬学部 臨床薬学教育研究センター
	5	抗がん剤と分子標的治療薬	がんの増殖を抑制する薬剤には、殺細胞作用を有する抗がん剤だけでなく、分子標的治療薬が近年新たに登場した。本講座では、代表的な抗がん剤および分子標的治療薬について、適正使用の観点からその特徴等について概説する。	6月28日	がん薬物療法認定薬剤師 近藤勝弘 名古屋市立大学病院 薬剤部
	6	EDと勃起不全治療剤の使い方	糖尿病、高血圧、高脂血症、心血管障害など血液循環に関連する生活習慣病を有する方はEDが起こりやすくなります。この講義ではED発症のメカニズムとPDE-5阻害剤の使い方と使用上の注意事項をわかりやすく説明します。	7月5日	教授 木村和哲 名古屋市立大学医学研究科 臨床薬理学
	7	抗がん剤と安全管理	化学療法レジメンの管理法、疑義照会など、安全な化学療法の実践に求められる体系的な管理方法を学び、リスクマネジメントの意識を高める。	7月12日	がん指導薬剤師 黒田純子 名古屋市立大学病院 薬剤部
	8	記憶障害・学習障害の治療薬	アルツハイマー病など、記憶や脳機能が障害される病気に対する薬物治療を学ぶ。また、学習障害に対する薬物治療の可能性についても学ぶ。	7月19日	教授 服部光治 名古屋市立大学薬学部 病態生化学
	9	ワーファリンの使い方	ワーファリンの基本的な薬理作用と実際の服薬指導、また副作用症状や検査値のモニタリングなどについて学習する。	7月26日	薬剤師 吉川一規 名古屋市立大学病院 薬剤部
	10	排尿障害のくすり	排尿障害はいろいろな原因から起こります。加齢、薬による副作用。40歳以上では2500万人が何らかの排尿障害があると推定される。この講義では薬の副作用による排尿障害。排尿障害の治療薬についての基本的な事をお話します。	8月2日	薬剤師 杉山洋介 名古屋市立大学病院 薬剤部
	11	漢方薬の使い方	西洋医学的に対応が困難な疾患に対して、漢方薬を用いた治療法の有用例が報告されてきている。本講義では基本的な漢方薬の使い方について学習する。	8月9日	准教授 牧野利明 名古屋市立大学薬学部 生薬学
	12	これからの糖尿病治療薬	糖尿病治療はH22年より大きく変わりました。インクレチンという新しい作用機序の薬剤が登場したからです。これまでの薬剤も含めてこれからの糖尿病治療薬をわかりやすく説明します。	8月23日	講師 今枝憲郎 名古屋市立大学医学研究科 消化器・代謝内科学
	13	抗菌薬の使い方のコツ	感染症治療に必要な抗菌薬の使用法は、医薬品集や添付文書の内容だけで理解することは困難で、PK-PD理論についての理解が必要です。本講義では、PK-PD理論に基づいた抗菌薬化学療法についてわかりやすく説明します。	8月30日	薬剤師 塩田有史 名古屋市立大学病院 感染制御室
	14	薬と保険制度	日本では医療用医薬品の価格は薬価で一律に決められています。しかし病院で薬をもらうのと薬局でもらうのとで価格は違います。薬と保険制度の話を通して、最近の薬局の話題、特に在宅医療や、病院との連携についてお話します。	9月6日	教授 鈴木 匡 名古屋市立大学薬学部 臨床薬学教育研究センター
	15	がん患者さんの痛みをとる	緩和医療の重要性が高まっている現在、使用されるがん疼痛治療薬の種類も増えてきて選択枝が広がっています。医療用麻薬を中心とした鎮痛薬について各製剤の特徴や使い方を説明し、併用される鎮痛補助薬についても紹介してゆきます。	9月13日	薬剤師 丹村貴之 名古屋市立大学病院 薬剤部